

サイエンスアゴラ 2023 出展応募に関する Q&A

- Q. オンラインセッションにおける「対話」が質疑応答とは違うことは理解しました。対話のような全体ディスカッションもあると思います。「対話」について教えてください。
- A. 対話の時間は、どのように来場者との対話を進めるかを考えて設計してください。
- 基本形：「60分の本編（アーカイブ公開）+対話30分（アーカイブ非公開）」です。一般的な質疑応答を60分の中で行えば、アーカイブ視聴者も基本的な疑問が解消できます。非公開の対話の時間では、本編の質疑応答では聞きにくかったご質問を受けたり、参加者からの率直なご意見を引き出したりすることを意識してください。
 - 対話を盛り込んだ設計：90分間すべてアーカイブで公開することもできます。例えばSlidoなど参加者からリアルタイムに意見を収集できるツールを使いつつ、セッション全体に対話要素が盛り込まれていれば、全編公開で問題ありません（参加者の個人情報の取扱いには注意してください）。
- Q. 個人1名での出展は可能でしょうか。
- A. その1名が体調不良になった場合に企画が実施できない体制は避けてください。サイエンスアゴラは「対話」を重視し、共創により未来を考えていこうという趣旨もあるので、企画出展についても、ぜひ周りの方に声をかけ実施体制を整えてご応募ください。
- Q. SNSの開設が制度上難しいなどの事情があれば別の広報計画でご提案するという選択肢もあり得るでしょうか。
- A. 広報計画も審査対象ですが、SNSの開設が制度上難しい場合は、その旨を記載し、別の広報計画を記載してください。
- Q. 全国紙などへのサイエンスアゴラ開催広報をお願いできないでしょうか。
- A. オンライン開催となって以来、Webでの全国への出稿や、雑誌、公共機関の広報誌での告知を行っています。今年は、新聞等で取材してもらえよう企画の充実を図ると同時に、可能な範囲で、さまざまな媒体を使って広報していきます。個別の企画については皆さまのご協力もお願いします。SNS等での告知や情報拡散にご協力ください。
- Q. ブース、セッションのどちらがよいか迷っています。展示内容の来場者への説明を中心として対話するのであればブースの方がよいでしょうか。
- A. ブース、オープンスペースのいずれでも良いと思われます。出展者様の体制で終日出展できるかも併せてご検討ください。ブースは無人の時間がないようにしてください。
- Q. 応募申請書は、写真の欄も含めてセルのサイズを変更してよいでしょうか。

- A. セルのサイズは変更しても問題ありません。ただし文字数制限は意識してください。イメージ図はぜひ提出いただきたく、ファイルサイズが大きくなり過ぎたら、説明書のシートを削除してください。
- Q. 推進委員会が決める「レイアウト」は会場全体の中でのブースの配置のことを意味していますか。ブース内部の配置は申請書に記載のほか、細かな変更等を出展者でおこなってよいでしょうか。
- A. 推進委員会による「レイアウト」はテレコムセンタービル会場全体のブース配置のことです。各ブース内部の配置は出展者様をご検討ください。詳細なイメージ図があると審査の際に有効です。また、審査委員会から何らかのアドバイスがある可能性もあります。
- Q. 「応募者が多かった場合に出展形式の変更をお願いすることがある。」とのことですが、これは、小間数の変更でしょうか。それとも日数（2日→1日）の変更でしょうか。
- A. ご応募状況により、小間数、日数の変更をお願いする場合があります。また、まれにですが、出展形式（オンライン・ブース・セッション）変更のお願いをする場合もあります。
- Q. オンラインでライブ投票をする場合、出展者側での用意が必要でしょうか。
- A. Zoom に登載された投票機能が使用できます。（ご不明な場合は事前に運営事務局にご相談ください。）
- Q. 研究者が研究の機器や成果や模型を展示して、その場で説明したり触ってもらったりできる体験企画を考えています。ブースの中で、時間を決めてセッションのようなものを実施することは可能ですか。
- A. 可能です。ブース内の展示内容と、実施したいセッションの実施時間・回数などを応募申請書に記入してください。なお、ブースの来場者の滞在時間は15分程度というデータがあるので、15分以内で説明と対話ができるメニューを複数用意されてはどうでしょうか。
- Q. ブース2小間使用の場合は基本設備の個数は倍になる、とありますが、サインスペースも2小間目にも付いてくるのでしょうか。
- A. サインは1個となります。
- Q. 対話していただける方の属性の多様性を確保するため、例えば、高校生にだけ事前に参加を募集するようなことは許されるでしょうか。それとも当日参加したい人を妨げるようなことは不可となりますでしょうか。
- A. 事前に対象を決めて募集することは問題ありません。ただ、当日参加できるような余地が少しはあったほうがよろしいかと思います。

- Q. ●●で出展したいのですが「5つのトピック」の中に該当するものはありません。どうしたらよいですか。
- A. 募集要項の13～16ページをご覧くださいなのですが、現在検討中の企画が、来場者のどんな興味を掘り下げるのか、でトピックを選んでみてください。14ページからの表の、右側の細かい問いを考えて、その問いがどのトピックに含まれていると、想定している来場者が来てくれそうかを考えてください。「●●って何の役に立ってるの」なら社会や社会課題かもしれないし、「花の形には●●が関係している本当？」なら自然かも、と考えてみてください。単にトピックで選ぶのではないのがポイントです。
- Q. 応募申請書に、持ち込む展示物や各種の配置など詳細なイメージ図を送ってください（写真可）。とありますが、この写真は過去に実施したセミナー企画の模様を撮った写真でもよいですか。
- A. 来場者に対して、どれくらいわかりやすい展示ができるのか、当日実施できるのと同じ程度の写真を貼り込んでください。持ち込まれる展示物が明確な場合は、その展示物の写真を使ってください。当日実施できる内容と、できるだけ乖離がないようにしていただけると幸いです。ワークショップの場合はレイアウト等をどうするかが分かりやすいようにご記入ください。